

SDGs観点で見る

「グリーン・デジタル」への成長と支援策

～環境にやさしい経営で生産性向上や経営面のメリットも!～

日本は2020年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、その実現のために、産業政策や成長が期待できる産業分野の実行計画をまとめたのが「グリーン成長戦略」です。政府は予算、税制、規制改革・標準化、民間の資金誘導などの政策を通じて、様々な取り組みを多方面にサポートしていきます。同様にデジタル化によるイノベーションへの取り組みも支援されています。そこで本セミナーでは、「グリーン・デジタル」の内容と企業とSDGs取り組みのメリットなども解説致します。

日時 令和6年8月22日(木)14:00～16:00

場所 津商工会館 5階会議室
及びオンライン（Zoomを使用）

受講料 無料（会員・非会員問わず）

対象者 中小・小規模事業者

定員 リアル(通常)参加 30名
オンライン参加 90名
※先着順、定員になり次第締め切りといたします。

お申込方法 下欄の申込書に必要事項を記入の上、FAXによりお申込みください。

お問合せ先 津商工会議所中小企業相談所
(担当：須川・中森・松村)

津市丸之内29-14

TEL.059-228-9141

〈主催〉津商工会議所

主な内容

- 1.SDGsの概要と企業のサステナブル
 - SDGs 関連クイズ
 - SDGsの理念と目標
 - なぜSDGsが企業でも叫ばれるようになったか？
- 2.脱炭素経営の意義とその取り組み
 - カーボンニュートラルとは
 - 日本の二酸化炭素排出量の現状
 - 脱炭素に直結するエネルギー問題
- 3.グリーン成長戦略に関わる3つのポイント
 - グリーン成長戦略に役立つ支援策
 - 民間企業における事例紹介と取り組む方向性
 - デジタルイノベーションと「リスクリング」
- 4.中小企業にとってのSDGsとは
 - 「望ましい未来」から逆算して「今」を考える
 - 「自社目線」ではなく「アウトサイド目線」を持つ
 - 一企業だけではないパートナーシップの構築



講師

株式会社KINO.COM 代表取締役

きのした よしたか

木下 芳隆 氏

大学卒業後、印刷会社営業として既存客のルート営業に従事するも、夢であった高校で日本史の教鞭を取るため大学院に入学。終了後、私立高校にて13年間勤務。予備校と併せて約4,000人の進学とメンタルの指導を行う。その後生命保険会社のライフコンサルタントに転身。2年間で輝かしい実績を残す。2008年から再度「教育」に携わる仕事に意欲を燃やし、教育研修会社の東京支店責任者に着任。企業・団体の研修・セミナー企画運営をこなし2019年独立。レジリエンスやSDGs関連、リーダーシップを中心に「日本元気」をモットーに奔走中。

8/22(木) 「グリーン・デジタルへの成長と支援策」

津商工会議所 行 ⇒ FAX **059-228-7317**

参加方法	リアル(通常)参加 ・ オンライン参加 (どちらか一方に○を付けてください。)		
事業所名	業 種 (事業内容)		
	従業員数		
TEL	FAX		
参加者①	役職	参加者②	役職
	氏名		氏名
メールアドレス (オンライン参加の方のみ)			

※ご記入いただいた情報は、当会議所からの各種連絡のために利用するほか、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用することがあります。